

明日へつながる、未来へつながる ～中部縦貫自動車道～

～山岸正裕市長～



今回の開通は、沿線地域住民にとって大きな喜びであるとともに、中部縦貫自動車道の整備によって大きな前進であります。本路線は四市町を貫き、医療面などにおける地域間の連携強化をはじめ観光振興、産業経済の発展に大きく寄与するものであり「真に必要な道路」です。

今後とも勝山市は、国、県と一丸となって、中部縦貫自動車道の日も早い完成に向けた整備に必要な財源の確保と、より一層の整備促進に取り組んで参りますので、皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

中部縦貫自動車道は一般国道158号の自動車専用道路で、長野県松本市を起点に、飛騨、美濃、越前・奥越地方の険しい山岳地帯を通り福井市に至る、総延長約160kmの高規格幹線道路です。

同自動車道は、関東、中部地方と近畿、北陸地方の広域的、一体的発展に資するため、中央自動車道長野線、東海北陸自動車道、北陸自動車道を相互に連絡して広域交通の円滑化を図り、文化・観光資源を活かした地域振興や産業経済の発展に寄与する道路として、整備を進めています。

永平寺大野道路は中部縦貫自動車道の一部を形成し、福井市から永平寺町・勝山市を経由し大野市に至る延長26.4kmの自動車専用道路として国土交通省福井河川国道事務所で鋭意事業を進めています。

永平寺大野道路(永平寺西IC～永平寺東IC間) 開通!

中部縦貫自動車道「永平寺大野道路」の永平寺西インターから永平寺東インター間約1.6kmが3月17日(土)に開通しました。これにより開通区間は、越坂トンネル区間を含め約3.2kmとなりました。

開通式には、福井県知事や地元選出国議員をはじめ、福井市、大野市、勝山市、永平寺町の沿線首長、地元住民代表のかたがたのご列席と、国土交通省からは道路局国道・防災課長、近畿地方整備局長などが参加され、総勢約200名の出席により式典が執り行われました。

当日は冬期間には珍しく晴天となり、テープカットの後、パトカーを先導に約50台の車列で通り初めを行い、午後4時には一般車両に解放しました。



開通した永平寺西インターから東インター間



～松岡吉野区の幅杭設置が完了～

永平寺町松岡吉野区(1工区)では、これまで調整を進めてきた永平寺大野道路の構造ならびに県道稲津松岡線バイパス、荒川付け替え、周辺の圃場整備計画がまとまり、平成19年3月末に幅杭の設置が完了しました。これにより、永平寺大野道路の全線で構造(予備設計)がおおむねまとまり、地区単位での幅杭設置が完了しました。

写真：幅杭完了式に立ち会う松本永平寺町長、松岡吉野区住民代表のかたがた

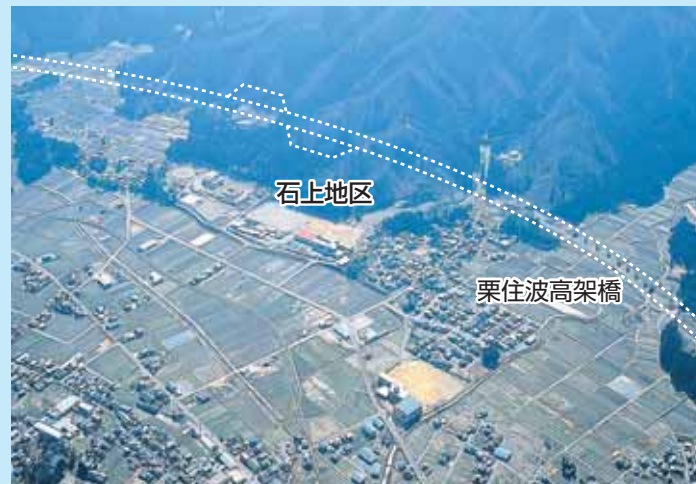


上志比インターから勝山インター間(延長7.9km)については、地元からの早期供用の要望に応え平成20年度末の完成に向け鋭意事業を進めていくこととしています。また、福井北ジャンクションから大野インター間の全線開通については、おおむね10年後の完成を目標に事業を推進していきます。



橋梁上部工事が進む「吉峰高架橋」

平成19年度改良工事を進めると石上地区と「栗住波高架橋」



永平寺町の上志比インターから勝山市の鹿谷インター間(3工区)は、平成20年度の完成をめざして、残る工事を鋭意促進していきます。

工事が進む「鹿谷高架橋、勝山インター」



勝山インターから大野インター間(4工区)は、すでに94%の用地修得が進み、平成19年度には本格工事に先かけ工事用進入路などの準備工事を進めることとしています。



用地修得が進む大野地域